

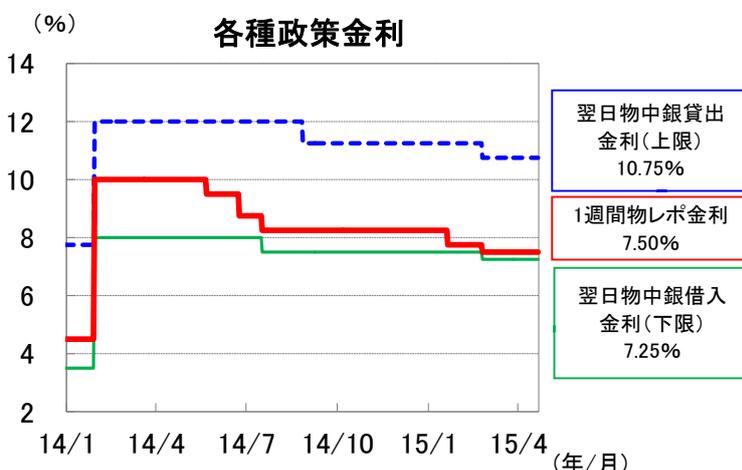
## 今日のトピック

# トルコ中銀、政策金利を据え置き、リラの安定化策を追加

### ポイント1 主要な政策金利を据え置き

#### リラの安定化策を追加

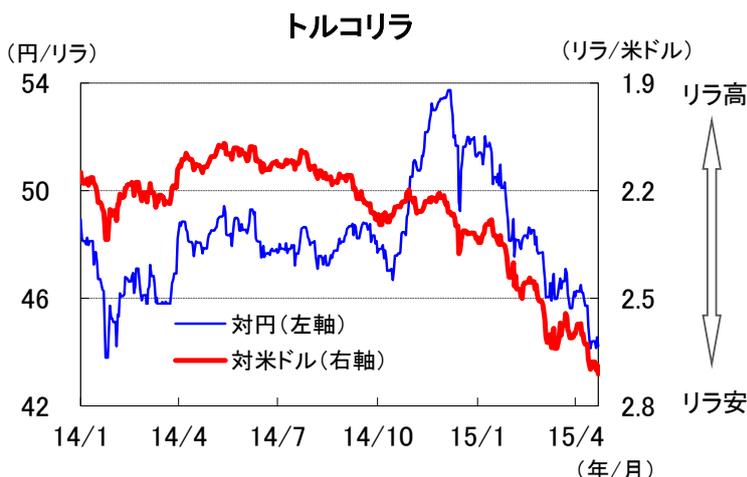
- トルコ中央銀行(以下、中銀)は22日、主要な政策金利である1週間物レポ金利を7.50%に、金利誘導レンジの上限金利を10.75%に、下限金利を7.25%に据え置くことを発表しました。足元でリラ安が進むなか、市場では中銀が前回3月に続き各種政策金利を据え置くとの見方が大勢でした。
- 一方中銀は、外貨を貸し出す際の金利引き下げと、リラの準備預金に対する金利引き上げを発表しました。これにより市中銀行が外貨を調達しやすくなると同時にリラの需給を引き締める効果が見込まれ、リラ相場の安定が期待されます。



### ポイント2 物価動向を見極める姿勢

#### 世界的な金融市場の不安定さを警戒

- 中銀は、これまでの金融引き締め策の効果などから、物価の基調は落ち着きつつあると見ています。ただし、世界的な金融市場の不透明さや食品価格の上昇を警戒しています。
- 3月の消費者物価指数は前年同月比+7.61%と、中銀の物価目標(年+5%)を大幅に上回っています。また、市場の1年後の予想も同+6.91%と、目標に達しない見込みになっています。
- 中銀は物価見通しが顕著に改善するまで、現行の高めの政策金利を維持する方針です。リラの安定化に向けては、市場ではさらに政策の追加を予想する見方もあります。



(注) データは2014年1月1日～2015年4月22日。  
(出所) Bloomberg L.P.、トルコ中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 物価次第で利下げ再開、景気拡大期待が高まればリラは持ち直しへ

- 海外と比較して高めの金利は、リラの下支え要因です。また、高めの金利は内需を抑え、輸入の減少などによる経常収支の赤字縮小をもたらす、リラの需給改善につながっています。
- 物価見通しが落ち着けば、中銀は利下げを再開することが可能になります。利下げ再開により、景気拡大期待が高まれば、リラは持ち直しに向かうと期待されます。

### ここもチェック!

2015年04月16日 トルコリラの最近の動向と今後の見通し  
2015年03月18日 トルコ中銀、各種政策金利を据え置き

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。